

平成25年度 沖縄振興公共投資交付金

事業評価結果

平成26年8月
沖縄県

沖縄振興公共投資交付金の評価制度について

評価制度の概要

沖縄振興公共投資交付金は、沖縄県が沖縄の振興に資する事業を自主的に選択して作成した沖縄振興交付金事業計画に基づく事業のうち、沖縄の振興の基盤となる施設の整備に関する事業等の実施に要する費用に対し、国が交付金を交付することにより、沖縄の実情に即した事業の的確かつ効果的な実施を図ることを目的としている。

沖縄県は、投資交付金の目的に鑑み、その執行に際し成果目標及びその達成予定年度（長期にわたる事業等では、当該成果目標の達成状況についておおむね3年程度の適当な期間ごとに定める中間評価年度）を設定し、設定した成果目標の達成予定年度（中間評価年度）以後、速やかに当該成果目標の達成状況について評価を行うこととなっている。

沖縄県は、成果目標及びその達成予定年度の設定並びに成果目標の達成状況についての評価を行った場合には、これを公表するとともに、内閣総理大臣に提出することとなっている。

（沖縄振興公共投資交付金制度要綱より）

事業評価の方法

事業評価については、沖縄振興公共投資交付金の成果目標において、平成25年度に①中間評価年度又は、②達成予定年度と設定しているものを平成26年度に評価する。評価の方法は、成果目標毎に設定した定量的な目標値に対する実績値を達成率（％）に換算した上で評価している。

また、目標達成率を踏まえ、さらなる効率化等に向けた検証を行っている。

事業評価（例）

No	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対象事業（事業計画上のNo）	成果指標	単位	目標値（基準値）	達成値（実績値）	目標達成度（％） （実績値/目標値） ×100	成果（達成値、目標達成度）の検証	備考
2	市町村立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（8校及び6園）	H25	—	C-1 (No. 54～63, 108～111)	構造上危険な校舎等の改築を実施した市町村立学校の数	校	14	14	100.0	本事業で構造上危険な状態にある校舎等を改築することにより、安全性の改善が図られた。	
3	市町村立学校の不適合改築（3園）	H25	—	C-2	教育を行うのに著しく不適当な建物の改築を実施した市町村立学校の数	校	3	3	100.0	教育を行うのに著しく不適当な建物を改築することにより、教育条件の改善が図られた。	

算出された達成率については、各目標毎に下記の評価基準に区分する。

「達成」：達成率が100%

「概ね達成」：達成率が70%以上100%未満

「一部達成」：達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合

「未達成」：達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合

評価結果について

今年度公表した評価結果は、成果目標において平成25年度に中間評価年度と設定した3件及び達成予定年度と設定した40件のうち、次年度に評価・公表する「繰越」3件を除く40件である。

記号	担当省庁	部局名	分野	H24		H25		H26		H27		H28以降		合計		
				中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	
A	警察庁	公安	交通安全施設	1			1							1	1	
C	文科省	教育	学校	1	18	2	19		2					3	39	
D	厚労省	企業局	水道施設				1	1				1	1	2	2	
		福祉	社会福祉施設				1							0	1	
		病院・医療	医療施設		2		1							0	3	
E	農水省	農林	畜産				1							0	1	
			農業農村						5				6	5	6	
			森林		1		1				1			0	3	
G	国交省	土木	漁港						1				1	0	2	
			道路				3						1	1	4	
			港湾	1	1			4	2				4	5	7	
			治水						2						0	2
			海岸						1						0	1
			下水	4			2		4						4	6
			都市公園	5	2	1	10	5	9		2			5	11	28
H	環境省	環境	自然環境						1					0	1	
合計				12	24	3	40	10	24	5	3	2	18	32	109	

◆中間評価の達成状況

評価対象 目標数	評価			繰越
	達成 概ね達成	一部達成	未達成	
3	3 うち達成 2 概ね達成 1	0	0	0
	100%	0%	0%	0%

中間評価は、事業途中の評価であるが、今回の評価では、全て成果指標の平成25年度目標値を達成または概ね達成している。

◆最終評価の達成状況

評価対象 目標数	評価			繰越
	達成 概ね達成	一部達成	未達成	
40	36 うち達成 30 概ね達成 6	0	1	3
	90%	0%	2.5%	7.5%

最終評価については、40件の成果目標中1件が未達成となったが、今年度未着手の3件を除く36件については、成果目標の目標値を達成または概ね達成している。

※「繰越」となっている目標については、次年度に評価し公表する。

分野別の評価結果

A 交通安全

担当課:警察本部会計課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

2-(4) 社会リスクセーフティネットの確立

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

交通量が多い等により交通環境の改善を行う必要性が高いと認められる地区で、交通事故を防止するため、交通安全施設等を整備し交通の円滑を図る。

【達成状況及び今後の改善案】

現況においては設定目標をすべて達成しており、今後も計画的に事業を実施する。

C 学校

担当課:教育庁施設課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

5-(3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

時代に対応する魅力ある学校づくりを推進するため、公立義務教育諸学校施設及び幼稚園の施設、共同調理場、教員のための住宅等や高等学校等に係る建物等の整備を実施し、安全で快適な学習環境の整備を図る。

【達成状況及び今後の改善案】

現況においては設定目標を概ね達成しており、今後も計画的に事業を実施する。

D1 水道

担当課:企業局建設計画課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

2-(6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

今後の水需要に適切に対応し、安定給水の確保を図るため、多目的ダム建設事業を促進する。

【達成状況及び今後の改善案】

計画どおり事業は完了しており、今後も水需要に対応した安定給水の確保を図る。

分野別の評価結果

E1 畜産

担当課:農林水産部畜産課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

3-(7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

宮古島市、多良間村においてはさとうきび、畜産、葉たばこ等耕畜連携した複合経営を行なっている。また、畜産においては、牧草が周年生産される温暖な気象条件を生かした肉用牛繁殖経営が主体となっている。しかし、高齢化に伴う離農により、耕作放棄地が増大している現状がある。本事業を実施することにより、未利用地、低利用地を活用して、草地基盤の整備と併せて牛舎等の施設整備を行ない、担い手畜産農家への土地利用集積を図ることで、経営規模の拡大及び効率化を推進し、地域の中心となる経営体を育成し、安定的な畜産の発展に寄与することができる。

【達成状況及び今後の改善案】

事業計画時の農業振興地域整備計画の変更には時間を要したが、草地整備の目標は概ね達成した。今後、計画変更がある場合は、事前に関係自治体と十分な調整を行ない、事業の円滑な執行に努める。

E1 森林

担当課:農林水産部森林管理課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

3-(7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

伊平屋村田名地区の漁場保全の森づくり事業は、漁場背後の森林を整備することにより、栄養塩類等の供給や濁水の緩和等の漁場環境の保全を図ること、また、併せて背後の農地への潮風害の被害防止を図ることを目的として実施している。

当該事業の概要は、連年の台風や季節風により荒廃した保安林について植栽工及び植栽した樹木を保護するための防風工等を施工し森林を造成するものである。

当該事業により森林が造成されることにより、漁場及び農地の保全が図られ、農業及び漁業等地域振興が図れる。

【達成状況及び今後の改善案】

事業計画区域の保安林に、当初は想定できなかった台風及び波浪による侵食がみられたことにより防浪工の設置が必要になったことや、荒廃森林の面積が想定よりも広がったことにより、事業量が増加した。

今後は、入念な事前調査に努めるとともに、早期の事業完了を目指す。

分野別の評価結果

G1 道路

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 1-(7) 人間優先のまちづくり
- 2-(4) 社会のセーフティネットの確立
- 2-(6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
- 3-(1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
- 3-(11) 離島における定住条件の整備

担当課: 土木建築部道路街路課
道路管理課
都市計画・モノレール課

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

幹線道路網の強化・道路交通の円滑化、並びに地域間の交流・連携を促進し利便性向上・地域経済活性化に寄与する、環状道路・バイパスの整備、現道の拡幅、交差点改良等の道路整備を実施し、自立型経済の構築に向けた基盤整備、地域特性に応じた生活基盤の充実・強化を図る。

沖縄都市モノレールを沖縄自動車道（西原入口）まで延長整備することで、効果的・広域的な利用を推進し、定時定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークを形成するとともに、自動車から公共交通への転換を図る。

離島における交通基盤の強化と交通ネットワーク充実のための道路整備等を行い、定住条件の整備を図る。

歩いて暮らせる環境を推進するため、歩道未整備箇所への歩道設置や必要幅員の確保等による歩行者と車両の分離、防護柵等の交通安全施設の設置並びに無電柱化を推進し、歩行者の安全性の向上を図る。

災害時における道路の危険箇所の除去にむけて、橋梁の修繕及び法面崩壊防止対策の実施並びに無電柱化を推進し、災害の未然防止や緊急輸送道路の確保を図る。

【達成状況及び今後の改善案】

現状においては、用地取得の困難等があったが、設定目標は概ね達成した。今後は、成果目標を達成するため、効率的かつ効果的な取組を実施し、事業進捗を図る。

G5 下水道

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 1-(2) 持続可能な循環型社会の構築

担当課: 土木建築部下水道課

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

本県の豊かな自然環境の保全・再生及び安全なまちづくりの観点から、生活環境の改善、浸水の防除及び海や河川等の公共水域の水質汚染の防止等のため、下水道施設の整備を行っている。

その中で、持続可能な循環型社会の構築に向け、下水処理水を高度処理した「再生水」事業を推進している。再生水は、都市に安定して存在する下水処理水をさらに高度処理した新しい水資源であり、水洗トイレ用水や散水用水として那覇新都心地区や県庁周辺地区等へ供給している。

再生水の利用施設は平成25年度末で53施設となり、順調に拡大していることから、水資源の循環型社会の形成に資することができた。

【達成状況及び今後の改善案】

再生水事業については設定目標を概ね達成しており、今後も再生水利用促進を図る。

分野別の評価結果

G7 都市公園

担当課:土木建築部都市計画・モノレール課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 1-(6) 価値創造まちづくり
- 1-(7) 人間優先のまちづくり

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

本県の亜熱帯の特性を生かし、花と緑であふれる魅力的な県土の形成を図り、潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創生の観点から、都市における環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場の創出等のため、都市公園施設の整備を行っている。

また、高齢者や障害者をはじめ、誰もが安全・安心して快適に暮らせる人にやさしいまちづくりの推進に向け、都市公園施設のバリアフリー化、老朽化した施設の改築・更新及び長寿命化対策を行っている。

【達成状況及び今後の改善案】

現状においては設定目標を概ね達成しており、今後も、事業主体である市町村との調整を行い、事業推進を図る。

分野別の評価結果（平成24年度からの繰越分）

D3 医療施設

担当課:保健医療部保健医療政策課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
- 3-(11) 離島における定住条件の整備

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

離島・へき地における安定的な医療の確保を図るため、診療所の施設整備を行う市町村に対し補助を行う。

【達成状況及び今後の改善案】

平成24年度は、事業計画の変更（竹富診療所医師住宅建設場所の変更）により事業に着手できなかった。25年度に住宅が完成した（目標達成度：100%）。

今後は、事業主体である市町村と綿密に工程管理を行い、計画どおりに事業を実施することができるよう取り組む。

平成25年度 沖縄振興公共投資交付金に係る事業評価表

(団体名:沖縄県)

成果目標No	成果目標 (H25設定)	達成予定年度	中間評価年度	対象事業 (事業計画上のNo)	成果 指標	単 位	目標値 (基準 値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH25となっている場合のH25の目標値	達成値 (実績 値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH25となっている場合のH25の実績値	目標達成度 (%) (実績値/目標値) ×100	成果 (達成値、目標達成度)の検証	備 考
【A 交通安全施設】											
1	円滑化対策エリア内の特定道路において、信号機柱の改良、適正な位置への移設、標識・標示の整備を行い、交通の安全と円滑化を図る。	H25	—	A	円滑化対策エリア内の信号機、標識・標示整備率	%	100	100	100.0	目標としていた整備率を達成し、指定エリア内の交通の安全の確保と円滑化を図ることができた。	整備率=整備済箇所/要整備箇所×100
【C 学校】											
2	市町村立学校の構造上危険な状態にある建物の改築(8校及び6園)	H25	—	C-1 (No. 54~63, 108~111)	構造上危険な校舎等の改築を実施した市町村立学校の数	校	14	14	100.0	本事業で構造上危険な状態にある校舎等を改築することにより、安全性の改善が図られた。	
3	市町村立学校の不適格改築(3園)	H25	—	C-2	教育を行うのに著しく不適当な建物の改築を実施した市町村立学校の数	校	3	3	100.0	教育を行うのに著しく不適当な建物を改築することにより、教育条件の改善が図られた。	
4	市町村立学校の大規模改築(老朽)(3校及び1園)	H25	—	C-3	経年により発生した機能低下に対する建物全体の改築を実施した市町村立学校の数	校	4	4	100.0	建物全体を改築することにより、教育環境の改善を図り、建物の耐久性の確保が図られた。	
5	市町村立学校の大規模改築事業(質的整備)(1校)	H25	—	C-4 (No. 71)	教育内容・方法の多様化等に適合させるための内部改築工事を実施した市町村立学校の数	校	1	1	100.0	内部改築工事を実施することにより、教育内容・方法の多様化等に適合させ、教育条件の向上が図られた。	
6	市町村立学校の屋外教育環境の整備に関する事業(運動場、学習施設)(6校)	H25	—	C-6 (No. 72~77)	屋外教育環境の整備を実施した市町村立学校の数	校	6	6	100.0	計画どおりに整備することができ、屋外教育環境の充実が図られた。	
7	へき地学校の教員宿舎整備事業(5校)	H25	—	C-9	へき地教員住宅を整備した学校数	校	5	5	100.0	計画どおりに整備することができ、へき地における義務教育の充実が図られた。	
8	幼稚園の園舎の新増築(7園)	H25	—	C-12	園舎の新増築を実施した幼稚園の数	園	7	7	100.0	計画どおりに整備することができ、幼稚園施設の充実が図られた。	
9	学校給食施設の新増築(3箇所)	H25	—	C-15	施設の新増築を実施した学校給食施設の数	箇所	3	3	100.0	学校給食施設を新増築することにより、学校給食の充実が図られた。	
10	学校給食施設の改築(5箇所)	H25	—	C-16	老朽化した施設の改築を実施した学校給食施設	箇所	5	5	100.0	老朽化した施設を改築することにより、安全な学校給食の実施が図られた。	

平成25年度 沖縄振興公共投資交付金に係る事業評価表

(団体名:沖縄県)

成果目標No	成果目標 (H25設定)	達成予定年度	中間評価年度	対象事業 (事業計画上のNo)	成果 指標	単位	目標値 (基準値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH25となっている場合のH25の目標値	達成値 (実績値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH25となっている場合のH25の実績値	目標達成度(%) (実績値/目標値) ×100	成果(達成値、目標達成度)の検証	備考
11	市町村立学校の学校水泳プールの整備に関する事業(5校)	H25	—	C-17 (No. 96~99, 114)	学校水泳プールの整備を実施した市町村立学校数	校	5	5	100.0	計画どおりに整備することができ、学校体育施設の充実が図られた。	
12	武道場の新改築(2校)	H25	—	C-18	中学校の武道場の整備を実施した市町村立学校数	校	2	2	100.0	計画どおりに整備することができ、学校体育施設の充実が図られた。	
13	防災機能の強化に関する事業(1校)	H25	—	C-22	防災機能の強化を図るための整備を実施した学校数	校	1	1	100.0	計画どおりに整備することができ、防災機能の強化が図られた。	
14	市町村立学校の太陽光発電等の整備に関する事業(5箇所)	H25	—	C-23	太陽光発電整備を実施した市町村立学校数	箇所	5	5	100.0	計画どおりに整備することができ、太陽光発電等を整備することができた。	
15	県立学校の構造上危険な状態にある建物の改築(21校)	H26	H25	C-1 (No. 1~8, 10~20) H25補正 C-1	構造上危険な校舎等の改築を実施した県立学校の数	校	21	19	90.5	本事業で構造上危険な状態にある校舎等を改築することにより、安全性の改善が図られた。	
16	特別支援学校の大規模改築事業(質的整備)(1校)	H25	—	C-4 (No. 21)	教育内容・方法の多様化等に適合させるための内部改築工事を実施した特別支援学校の数	校	1	1	100.0	内部改築工事を実施することにより、教育内容・方法の多様化等に適合させ、教育条件の向上が図られた。	
17	県立学校の屋外教育環境の整備に関する事業(運動場)(3校)	H25	—	C-6 (No. 23~25)	屋外教育環境の整備を実施した県立学校の数	箇所	3	3	100.0	計画どおりに整備することができ、屋外教育環境の充実が図られた。	
18	特別支援学校の校舎の新増築(2校)	H25	—	C-10	施設の新増築を実施した特別支援学校の数	校	2	2	100.0	特別支援学校を新増築することにより、教育の円滑な実施及び施設整備の充実が図られた。	
19	県立学校の校舎の新増築(3校)	H26	H25	C-11	施設の新増築を実施した県立学校の数	校	3	3	100.0	県立学校を新増築することにより、教育の円滑な実施及び施設整備の充実が図られた。	
20	特別支援学校の学校水泳プールの整備に関する事業(2校)	H25	—	C-17 (No. 52~53)	学校水泳プールの整備を実施した県立学校数	箇所	2	2	100.0	計画どおりに整備することができ、学校体育施設の充実が図られた。	
21	産業教育施設整備の整備 ・学科改編に伴う特別装置の充実(2校、2装置) ・実験実習の発展的展開に繋がる新規整備(3校、3装置) ・装置の老朽化に伴う更新(17箇所、26装置)	H25	—	C-14	装置の充実、整備更新が完了した施設の数	箇所	20	20	100.0	産業教育における設備の充実が図られ、計画通り整備できた。	「成果目標」の箇所数の合計は22となっているが、複数の目標を掲げている箇所が2校あるため、「目標値」は20となっている。

平成25年度 沖縄振興公共投資交付金に係る事業評価表

(団体名:沖縄県)

成果目標 No	成果目標 (H25設定)	達成 予定 年度	中間 評価 年度	対象事業 (事業計画 上のNo)	成果 指標	単 位	目標値 (基準 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の目標値	達成値 (実績 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の実績値	目標達成 度(%) (実績値/目 標値) ×100	成果(達成値、目標達成度) の検証	備 考
22	県立学校の太陽光発電等の整備に関する事業(5箇所)	H25	—	H25補正 C-23	太陽光発電整備した県立学校数	箇所	5	0	0.0	国の経済対策による予算措置分について、速やかに整備を進める。	
【D1 水道施設】											
23	今後の水需要に適切に対応し、安定給水の確保を図るため、多目的ダム建設事業を促進する。	H25	—	D1 (No. 1)	多目的ダム整備率	%	100	100	100.0	平成25年度の金武ダム完成をもって、多目的ダムの整備率100%が達成された。これにより今後の水需要に対応した安定給水の確保が図られる。	
【D2 社会福祉施設】											
25	障害者支援施設「石川学院」にかかる大規模修繕等事業(浴室タイル張替え、各部屋間仕切り壁設置、老朽カ所サッシ取替え等)の竣工	H25	—	D2	修繕整備施設数	施設	1	0	0.0	施設レイアウトの実施設計において、建築確認手続に当初の見込みより時間を要した。	
【D3 医療施設】											
26	へき地診療所及び医師住宅の施設整備 ・竹富町黒島診療所 160㎡ ・竹富町黒島診療所 医師住宅 65㎡	H25	—	D3	施設整備数	箇所	2	0	0.0	施工業者が契約したコンクリート供給業者のコンクリート製造プラントが故障したが、域内に供給業者が1社しかおらず、プラント修繕のため工事の遅れが生じた。	
【E1 畜産】											
28	【目標】 担い手への土地利用集積の推進による規模拡大の実現や域内の未・低利用地を新たに飼料生産基盤に活用することにより畜産主産地の形成を促進する。 【定量的指標】 草地の整備:30.94ha 肉用牛飼養頭数の増:385頭	H25	—	E1 (No. 6)	草地の整備	ha	30.94	24.55	79.3	農業振興地域整備計画の変更に時間を要したが、草地整備の目標は概ね達成した。	
【E1 森林】											
36	漁場の後背地における森林の整備(整備地区数:1地区)	H25	—	H24補正 E1 (No. 4)	漁場の後背地における森林の整備地区数	地区	1	0.5	50.0	当該事業は、漁場背後の森林整備を整備し、漁場環境の保全を図ることを目的に実施している。 実施測量設計時に、事業計画区域内の海岸に、当初は想定できなかった台風及び波浪による侵食がみられたことにより護岸工の設置が必要になったことや、荒廃森林の面積が想定よりも広がったことにより、事業量が増加した。	今後の目標達成度見込 H26: 60% H27: 80% H28: 100%
【G1 道路】											

平成25年度 沖縄振興公共投資交付金に係る事業評価表

(団体名:沖縄県)

成果目標 No	成果目標 (H25設定)	達成 予定 年度	中間 評価 年度	対象事業 (事業計画 上のNo)	成果 指標	単 位	目標値 (基準 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の目標値	達成値 (実績 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の実績値	目標達成 度(%) (実績値/目 標値) ×100	成果(達成値、目標達成度) の検証	備 考
37	沖縄観光の新たな魅力の創出を図る社会基盤としての港湾・空港・都市モノレール等と一体となった道路の整備を推進し、景観を考慮した観光拠点へのアクセス、ホテル等の宿泊施設への円滑な交通の確保を図るとともに、産業・経済活動を支援する。	H25	—	G (No. 1～60, 68～71, 184, 244, 245, 259～261, 271, 293, 294, 333, 344, 345, 350) H25補正G (No. 1, 3, 5, 7, 8)	道路を整備し、安全かつ円滑な道路の整備率を算出する。 (道路の整備延長)/(対策期間における要整備延長)×100	%	52.7	41.3	78.4	用地を取得することができなかったり、交渉が難航したりして、取得までに時間を要し、その後の工事を完成することができなかったため、目標の率を下回ったが、概ね目標を達成することができた。	
38	歩道未整備箇所への歩道設置・幅員の狭い歩道の拡幅等による歩行者と車両の分離、ガードレール等の交通安全施設の設置・修繕等の整備を推進し、歩行者の安全性の向上を図る。	H25	—	G (No. 246, 250, 263～271, 295～297, 305～309, 318, 319, 329～334, 347～355, 369～371, 375～377, 382～387, 390～396, 406～409, 411～413, 416, 417, 422～427, 447～451, 461～463, 468～472, 480, 482, 487, 489, 490, 496, 519) H25補正G (No. 6, 9)	歩道を整備し、歩行者と車両の分離による安全・安心歩行空間の整備率を算出する。 (歩行空間の整備延長)/(対策期間における要整備箇所延長)×100	%	63	51.3	81.4	用地買収困難箇所により、整備が遅れている路線があるものの、概ね目標を達成し、歩行空間の整備が確実に進捗していると評価できる。	
39	台風や梅雨等の集中豪雨により、崩壊の恐れがある道路の危険箇所の防災対策を推進し、災害等を未然に防止する。また、耐震性の向上等、安心できる暮らしを構築する道路の整備を図る。	H25	—	G (No. 61～183, 247～252, 509～518) [H25補正]G (No. 2)	災害時等における道路の危険箇所の解消率を算出 (Σ対策済み延長/Σ要対策延長)×100	%	93	76	81.7	用地交渉が難航したため整備が遅れが生じたが、目標は概ね達成した。	
【G5 下水道】											
44	下水処理水の再利用により、安定した水資源の確保に寄与し、節水型リサイクル社会の構築に資する。	H25	—	G (No. 228)	1日あたりの再生水の利用量	m ³ /日	800	685	85.6	再生水の供給区域拡大を図り供給施設は計画通り増加した。雨水併用施設などの影響もあり、実際の利用量が増えなかったが、目標は概ね達成した。 再生水の利用量は順調に推移していることから、水資源の循環型社会の構築に寄与した。	【目標値関係】 現況値(H21):478m ³

平成25年度 沖縄振興公共投資交付金に係る事業評価表

(団体名: 沖縄県)

成果目標 No	成果目標 (H25設定)	達成 予定 年度	中間 評価 年度	対象事業 (事業計画 上のNo)	成果 指標	単 位	目標値 (基準 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の目標値	達成値 (実績 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の実績値	目標達成 度(%) (実績値/目 標値) ×100	成果(達成値、目標達成度) の検証	備 考
45	下水処理水の再利用により、安定した水資源の確保に寄与し、節水型リサイクル社会の構築に資する。	H25	—	G (No. 228)	再生水供給施設数	箇所	50	53	106.0	再生水の供給区域拡大を図った結果、供給施設数は計画通り増加した。 再生水の利用施設拡大により、水資源の循環型社会の構築に寄与した。	【目標値関係】 現況値(H21)：43箇所
【G7 都市公園】											
52	都市公園整備事業の推進を図ることにより、良好な地域環境の形成、自然環境の保全、災害時における緊急避難地の確保等、快適で安全で安心した都市環境を提供するとともに、公園利用者の利用利便性の向上を目指す。	H25	—	G (No. 285)	利用者の安全・安心のために遊具を更新した公園数	箇所	20	22	110.0	老朽化した遊具を更新することにより、利用者の安全・安心の改善が図られた。	
60	地域住民の意見を踏まえ、安全性に配慮した親しみのある都市公園の計画的な整備を推進するとともに、競技スポーツの振興及び市民の生涯スポーツ・健康増進・レクリエーションの充実に資する都市公園の整備を目指す。	H27	H25	G (No.358～361, 366～368)	一人当たりの都市公園面積	m ² /人	19.32	19.73	102.1	一人あたりの公園面積を計画的に増加することができた。また、公園施設長寿命化策定業務を行い健全度を把握することで、安全性に考慮した親しみのある都市公園につなげることができている。それにより公園利用の増進につながっている。	【指標】 ・名護市における一人当たりの公園面積を18.56m ² /人(H23年度末)から19.98m ² /人(H27年度末)に増加する。 【目標値】 ・名護市における一人当たりの公園面積：18.56m ² /人(H23年度末)⇒19.32m ² /人(H25年度末)⇒19.98m ² /人(H27年度末)
62	H24年度にて策定した糸満市都市公園施設長寿命化策定計画をベースに緊急度の高い公園施設の改築、更新を行う。	H25	—	G (No.374)	施設の改築・更新を行った公園数	箇所	6	5	83.3	当初予定していた箇所において、施設の老朽化が著しく、老朽化施設の更新・改築に多額の工事費を要したが、目標は概ね達成した。	
64	処分制限期間を超える老朽化した遊具等の改築・更新を行うとともに、豊見城市公園長寿命化計画において、改築・更新が必要と判断した公園の整備を推進することで、だれもが安全で安心して利用できる都市公園を目指す。	H25	—	G (No.389)	施設の改築・更新を行った公園数	箇所	3	3	100.0	本事業により老朽化し使用禁止となっていた遊具等の改築を行い、公園の安全性が向上し、安心して利用できるようになった。	【指標】 H25年度までに、改築・更新が必要な都市公園23公園のうち3公園を改築・更新 【目標値】 施設の改築・更新を行った公園数：現況値(H21末) 0箇所 ⇒中間(H24末) 1箇所 ⇒最終(H25末) 3箇所
66	公園施設長寿命化計画を策定し、施設の改築及び更新時期を平準化させ、コストの低減を図り、適切な維持管理により公園利用者の利便性向上を目指す。	H25	—	G (No.419)	長寿命化計画策定公園数	箇所	1	1	100.0	長寿命化計画を策定することができた。今後、公園の適切な維持管理に努めて行く。	

平成25年度 沖縄振興公共投資交付金に係る事業評価表

(団体名:沖縄県)

成果目標No	成果目標 (H25設定)	達成 予定 年度	中間 評価 年度	対象事業 (事業計画 上のNo)	成果 指標	単 位	目標値 (基準 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の目標値	達成値 (実績 値) ※「達成年 度」もしく は、「中間 評価年度」 がH25と なっている 場合のH25 の実績値	目標達成 度(%) (実績値/目 標値) ×100	成果(達成値、目標達成度) の検証	備 考
67	都市公園として村民の健全な心身を育む場として供用しているが、処分制限期間を超えたため、また長寿命化計画に基づき改善が必要と判断された公園施設を計画的に改築・更新していくことにより、誰もが安全で安心して利用できる公園として整備を行う。また、バリアフリー対策を行い高齢化、障害者なども含めた暮らしやすいユニバーサル社会を目指します。	H25	-	G (No.430)	公園施設 (園路広 場・駐車 場・便所) のバリアフ リー化の割 合	%	100	100	100.0	老朽化施設の更新や施設のバリアフリー化が図られ、安全性が向上し、安心して利用できる公園となった。	
68	公園長寿命化計画を策定することにより、計画的な維持管理の方針や、長寿命化対策を定め、公園施設の安全確保と機能保全を図る。	H25	-	G (NO. 437)	長寿命化計 画策定実施 公園数	箇 所	11	12	109.1	長寿命化策定公園数を予定していた11公園から当初、見込んでなかった1公園を増やし12公園とした。公園長寿命化計画を策定したことにより、遊具等の老朽化に応じて、優先的に予防保全計画を立てることができるようになった。	
69	本公園は、那覇北中城線沿いを急速な市街化が進み、スプロール化の進行が懸念される南上原地区に優れた居住環境を図ることを目的とする。	H25	-	G (No. 445)	南上原地区 の公園整備 面積	m ²	23,600	23,600	100.0	南上原地区の公園を目標通り整備することができた。	南上原地区の公園整備面積：3,600m ² (H23年度末)
70	西原町公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の適切な改築・更新を行い、だれもが安全で安心して利用できる都市公園を目指す。	H25	-	G (No.454)	公園施設を 改築・更新 した公園数	箇 所	10	10	100.0	本事業で公園遊具等を改築・更新することにより安全で安心して利用できる施設の改善が図られた。	
71	都市公園施設の老朽化に対する安全対策の強化と将来の改築・更新に係るコストの縮減や平準化を図る。	H25	-	G (No. 465)	公園施設の 改築・更新 に必要な公 園施設長寿 命化計画策 定公園数	箇 所	10	10	100.0	長寿命化計画を策定したことにより、公園施設の老朽化に対する安全対策の強化と将来の改築・更新に係るコストの縮減や平準化を図ることができるようになった。	
73	八重瀬町都市公園8箇所のうち、長寿命化計画を策定した都市公園5箇所において、老朽化施設(園路広場・遊戯施設・便益施設等)の改築・更新を進め、安全で安心して利用できる公園を目指す。	H25	-	G (No. 459)	都市公園の 改築・更新	箇 所	1	1	100.0	利用度の高いメイン園路の更新ができたことにより、安全が図られ安心して利用できるようになった。	

※成果目標Noは、「平成25年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標」の番号と一致

※当該一覧には、評価年度が到来した成果目標(「平成25年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標」において達成予定年度又は中間評価年度が平成25年度となって